

阿賀野市小教研の研究活動報告

会 長 須原 修
副会長 保科 徳久
評議員 須原 修

1 研究活動の方針

阿賀野市全小・中学校の組織として活動し、事務局は小学校に置く。次の事業を推進して、小・中学校教育の振興・充実・発展を図る。

- (1) 市学校教育の重点課題を検討し、「学力向上検討委員会」「生徒指導委員会」を設置して、先導的な試行と提案を行う。
- (2) 会員の指導力向上に向け、各教科・領域 15 部会の研修を推進する。

2 研究活動の実際

- (1) 学力向上検討委員会・生徒指導委員会
 - ・各中学校区単位の学力向上検討委員会が中核となり、小・中学校の学力実態を分析し、視点を共有した学力向上の取組を推進する。
 - ・心の教育や生徒指導の充実・特別支援教育の指導の在り方等について、生徒指導委員会で研修を深め、各校・全会員への提案を行う。
- (2) 教科・領域における指導力向上の研修
 - ・各教科・領域における会員の指導力の向上を目指す活動を行った。
 - ・「夏期教育講演会」(8月20日)において、聖籠町教育委員会非常勤嘱託指導主事の石川志郎様から「学校に適應できない子どもへの対応」と題して、子どもの発達課題を通じた適切な指導を得た。
- (3) 4 中学校区単位の連携
 - ・各校の校内研修における授業参観交流会を通して、学力向上に向けた教職員の具体的な連携を図った。
 - ・「いじめ根絶子どもサミットの開催」など、4 中学校区で企画運営した「中1ギャップ防止研修」に取り組んだ。
- (4) 教育研究発表会
 - ・市教研指定の前山小学校(11月11日)では、外国語活動を中心とした公開授業協議会が行われた。また、安野小学校(11月19日)では、国語と算数における言語活動の充実と特別支援教育の視点からの公開授業・協議会が行われた。両校の提案によって、小・中学校会員の指導力の向上を図った。
 - ・各研究会では、下越、市の指導主事、校長等を講師に招聘した。
 - ・教科・領域ごとの研修成果を冊子にまとめ、各学校等に配布する。

3 市教研が関係した主な事業

- (1) 小・中学校科学研究発表会：9月28日(市ふれあい会館) 児童生徒の発表会。
- (2) 親善陸上大会：9月29日(水原小学校) 各校6年生が陸上競技・交流会。
- (3) 小学校音楽祭：11月4日(市総合体育館) 各校児童音楽発表会。

